

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	社会調査法 (Social Research Method)					担当教員	瀧波 慶信 (タキナミ ヨシノブ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/協同学 習型AL/資格対応科目
	2036-0-33-081	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL/協同学 習型AL/資格対応科目
	2436-0-33-020	専門科目	選択	2単位	3年次	後期		

① 授業のねらい・概要
社会調査の歴史や目的、方法論や倫理といった社会調査の意義について学習する。次に社会調査の諸類型や実際に行われている官公庁の統計調査や、企業のマーケティング調査など、さまざまな社会調査についての知識を習得する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力/情報収集・分析力を養う/職業人として通用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
講義形式であるが、受講生自らが資料等の調査・分析をすることが必要。小課題提出が求められる。コンピュータ室を利用する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし。
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
轟亮・杉野勇・平沢和司 編 (2021)『入門・社会調査法 [第4版]』法律文化社
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
盛山和夫著 (2021)『社会調査法入門』有斐閣ブックス
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
日ごろから社会の動きに関心を持って生活すること。大学生はどうあるべきかをよく考えて講義に臨むこと。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 社会調査の意義を理解する。 (ii) 質問票を作成し、社会調査を行うことができる。 (iii) 社会調査の結果から諸課題解決の方策を提言できる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 社会調査の意義	社会調査の意義や必要性を理解することができる	社会調査の意義を理解できる	社会調査が行われていることは理解できる	社会調査が行われていることが理解できない	社会調査の意義について考えることをしない
(ii) 質問票を作成し社会調査を行う	質問票を作成し社会調査の方法を用いて分析できる	質問票を作成し社会調査の方法を理解できる	社会調査の方法を理解しようとする態度はある	社会調査の方法を感じることはできない	社会調査の方法を考えることができない
(iii) 諸課題解決に向けての提言	現実の諸課題について理解し、解決策を提言できる	現実の諸課題について理解できる	現実の諸課題についての理解が不十分	現実の諸課題について理解しようという態度は見受けられる	現実の諸課題について全く理解できない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%			50%			100%
(i) 社会調査の意義の理解	10%			10%			20%
(ii) 社会調査の実行	20%			20%			40%
(iii) 社会調査の結果を活かす	20%			20%			40%
フィードバックの方法	提出レポートにコメントを行う。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ガイダンス	授業の概要、進め方	120分
2	社会調査の歴史	社会調査の理解のための基礎理論	120分
3	社会調査における倫理	社会調査を行う上での注意点	120分
4	社会調査の目的①	問題意識	120分
5	社会調査の目的②	調査目的	120分
6	調査の方法①	面接調査	120分
7	調査の方法②	郵送調査	120分
8	調査の実際③	量的調査	120分
9	調査の実際④	質的調査	120分
10	調査の実際①	統計的調査①	120分
11	調査の実際②	統計的調査②	120分
12	さまざまな社会調査①	官公庁	120分
13	さまざまな社会調査②	企業	120分
14	さまざまな社会調査③	学術分野	120分
15	まとめ	社会調査と社会の発展に向けて	120分

⑫ アクティブラーニングについて
毎時間、受講生は授業の最後に本時に学んだ内容をまとめる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性